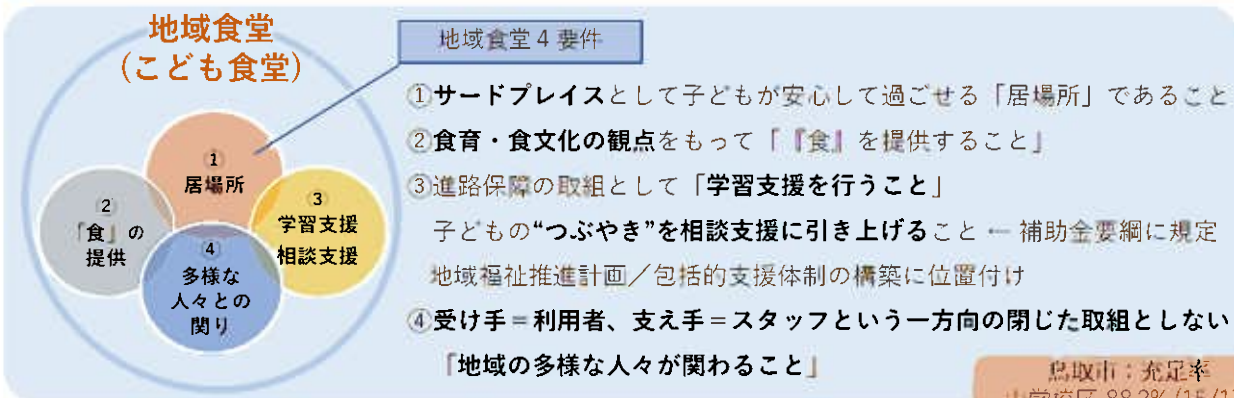
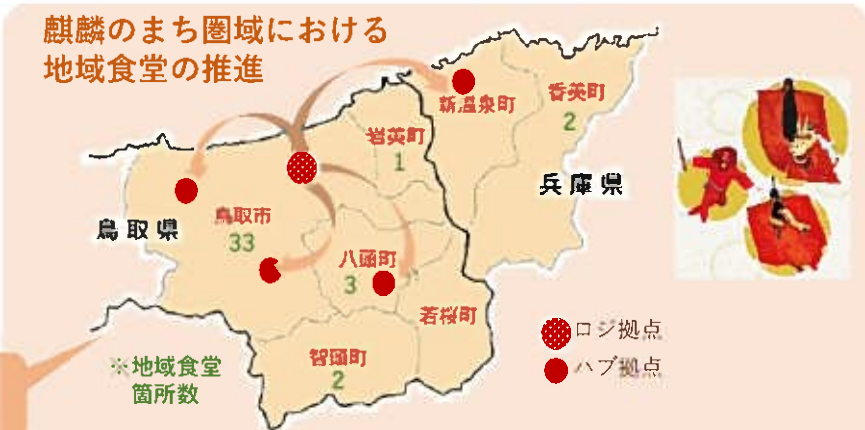


鳥取市モデルのこども食堂“地域食堂”の推進とネットワーク構築

「地域食堂」：子どもを中心に地域の様々な人が集う居場所、多様な人や社会資源が繋がる場地域食堂は、地域の多様かつ多世代の交流拠点となっています。
 困難を抱える人・世帯に関わっていくことを基本としながら、地域の誰もが気軽に行ける「だれでも食堂」＝「地域食堂」として展開しています。

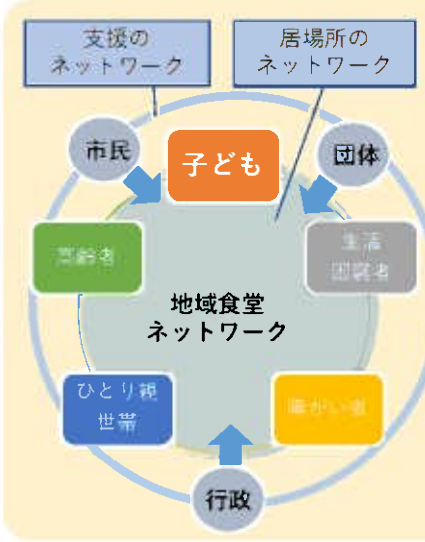


鳥取市：充足率
 中学校区 88.2% (15/17)
 小学校区 70.7% (29/41)



鳥取市と周辺4町、隣接の兵庫県2町で「麒麟のまち連携中枢都市圏」を形成しており、圏域全体の地域食堂への支援と推進体制を構築

- ロジ及びハブ拠点は、いずれも市町設置の施設内に大型冷蔵・冷凍庫を設置し、生鮮品や冷凍品を保管
- ロジ拠点において毎月約3トンの食材等を集荷し、各ハブ拠点を通じて各地域食堂をはじめ母子支援施設、更生支援施設などへも提供

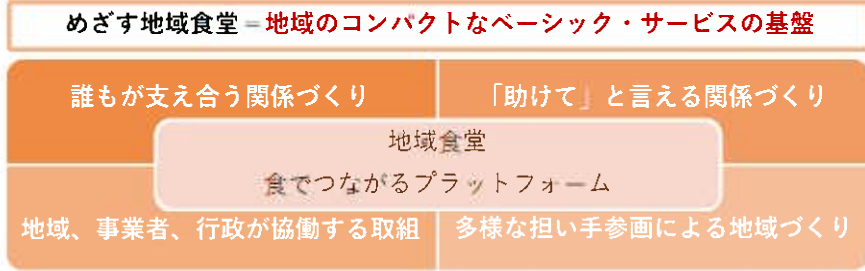


地域食堂ネットワーク (官民連携による地域食堂への支援)

設立趣旨：地域食堂が継続的・安定的に運営を行うため、**運営団体、支援団体、行政が連携し、互いに支え合う仕組みを構築し、もって地域共生社会をめざす取組**に資する

運営団体：4 1 食堂、支援団体：5 5 団体、行政：7 市町

- 【活動】
- 寄付や提供食材等の共同管理、ボランティア等の人材確保の支援
 - 情報交換会の開催及び活動の情報発信
 - 衛生管理に関する情報や衛生用品の無償提供や講習会の開催
 - 感染防止・衛生管理ガイドラインの作成
 - 立上げに関する支援、他



【広域連携】 ロジ・ハブ拠点整備と食でつながる支援のネットワーク構築



- ロジ及びハブ拠点は、いずれも市町設置の施設内に大型冷蔵・冷凍庫を設置し、電気代等の経費は市町負担
施設職員が食品の日常管理及び活用のためのネットワークを構築 ⇒ 持続可能な仕組みへ
- ロジ⇄ハブ間、ハブ⇄配分先団体間の車移動時間は30分以内、容易に配送・受取が可能
- 広域連携により食支援の効果的かつ効率的な展開が可能 市と周辺町→ 県内の体制づくりへ→ 隣県との連携へ
- 2023(R5)年度 県域（食支援＋食品ロス削減＋フードドライブ拠点の整備）を目的とした会議の開催へ

■ 作成：新温泉町社協

